

## DNW-26014 の概要

課題名 : 高転移性がんの腹膜播種に対する新規治療法の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

高田 美生 (公益財団法人野口研究所 研究部)

ステージ : 検証ステージ I

### 【標的疾患】

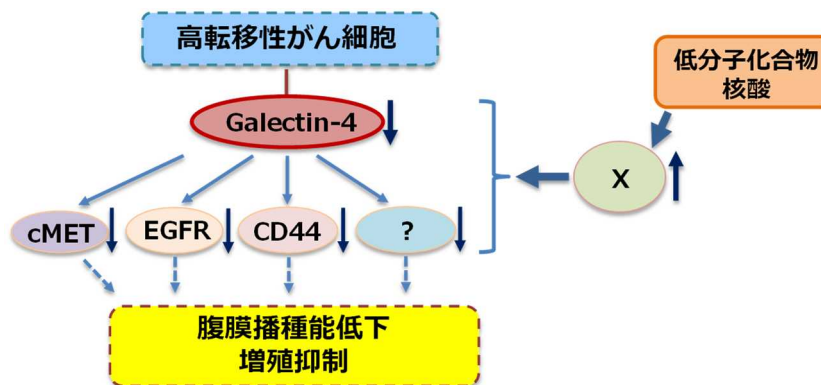
高転移性 (胃) がん

### 【創薬標的】

ガレクチン-4 が関与する高転移性がんの病態の制御に関わる分子群 (分子 X を含む)

### 【創薬コンセプト】

ガレクチン-4 が関与する高転移性がんの病態の制御に関わる分子群 (分子 X を含む) を標的とする高転移性がんの新規治療薬創製



### 【モデリティの設定】

低分子化合物又は核酸

### 【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) 高転移性胃がんの性状解析から、ガレクチン-4 が腹膜播種の形成や伸展に重要な役割を果たすことを見出した。
- 2) 分子 X がガレクチン-4 の機能調節に関与すること、及び分子 X を胃がん細胞株に安定発現させると、細胞の増殖能が低下すると共にヌードマウスへの移植で転移性の腫瘍形成が抑制されることを見出した。

**【科学的、技術的な優位性】**

- ・ 高転移性胃がんの創薬標的及び作用機序に関して、新規性及び独創性が高い。
- ・ 難治性の高転移性胃がん等に奏効する新規治療薬の創製が期待できる。

**【支援ステージにおける目標】**

- ・ 低分子化合物や遺伝子導入等による分子 X の人為的制御法の検証、及び胃がん細胞腹膜播種抑制効果/胃がん細胞増殖抑制効果の薬効を確認する。
- ・ 胃がんに加えて腹膜播種を来す卵巣がん、膵がん、中皮腫などから至適がん種を検索する。

**【関連特許】**

特願 2022-122649 号

特願 2024-007757 号

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp